

E.R.F.C.

Newsletter 2003 vol.2

【ピクニックオフのご報告】

去る6月7日、埼玉県日高市の高麗川河畔で「ERFCピクニック」が開催されました。

会場の「巾着田」河原には、ロードスターも大好きだけれど家族との時間も大切にしているメンバーが集まり、入梅直前の貴重な晴れ間の中、持ち寄ったご馳走を囲んで楽しい一日を過ごしました。

参加した木村弘南さんのレポートです。

6月7日（土曜日）巾着田にて今回のオフは企画されていました。11:00AM頃開始ということで9時半ころ家を出れば順調にいけば11時過ぎに着くかななどいつものように甘い考えで10時頃に家を出発。

旧浦和のさいたま市の自宅から旧大宮を經由して川越を超えて巾着田に到着というルートで行ったのですが、やはり川越で渋滞につかまりました。もっと早く出発しようよ！→自分。で、到着したのが12時半ごろ。

もうすでに私たち以外のメンバーはそろって食事の方も、もう一段落という雰囲気でした。食事は持ち寄りのものでしたが、係りを決めていなくてもしっかり様々な料理がそろってしまうのがさすがです。ローストビーフ、サーモンのマリネ、サラダ、おにぎりなどさりげなくとても美味しかったです。ついいっぱ

いいただきました。次回参加するときは食べるだけでなく自分もコンロとか持参しなくては。



巾着田とは川の流れがΩの様な形に流れていて、その中に囲まれていた土地が巾着のようになっているので名付けられたのだろうと容易に想像できるような場所なのですが、その地形のユニークさを抜きにしても非常にピクニックに向いている場所でした。都心からは少し距離はありますが、河原でバーベキューが出来、内側の農耕スペースでは散歩が出来ます。木陰も適度にあるので晴れていてもそれほど暑くはなかったです。今回は6月にピクニックをするのに雨でもなし照りつけるような晴れでもないというような非常に理想的な天候でした。

しかし、今回一番喜んでいてのは子供たちでした。うちの2歳の娘は河原で水遊びや魚取りをしている人の釣った魚（実はオタマジャクシが多かった）を見てはしゃいでいました。はしゃぐのはいいのですが、いちいちついて廻らなくてはならないのはちょっと疲れ

ますね。でもこんなうちが花なのかもしれないと思って我慢していますけど。

ERFCのピクニックオフということなのですが、いつものようにあまり車の話オンリーにはならず、第一ロードスターで来た人が一人もいないという何の車のクラブか判らない会になっていました。そんな中、車のクラブらしい話題としては後藤さんがお持ちになった117クーペのクラブ会誌をみんなで拝見させていただいてその美しさにみんな感心していたことがあげられます。会誌はカラーで写真が多用されていて立派なものでした。

そんな立派な会誌を結構頻繁に出しているのことで私のようなレポートを書くのが苦手な人間にはとても頭が下がる思いでした。

マツダの最近の話題としてRX-8の話が角山さんから出ていました。工場見学に行ったときにかなり手作業でエンジンを組み立てていたとか、エンジンを回すデモンストレーションで高回転にしたところでウィンググラスをエンジンの上に乗せても中身がこぼれなかったとか。この話については私も先日試乗したので、その回転のなめらかさは体験しました。私の場合は街乗りだったので全然回頭性についてはよく分からなかったのですが、エンジンを回しても音量が余り変化しないのはやはり独特だと思いました。結構いいなと思ったのですが、試乗の帰りにロードスターに乗り換えてみて、ロードスターの代わりにはならないなと思ったのも確かでした。ロードスターの洗練されていない乗り心地とか一体感とか視線の低さ、そして屋根が空く！ということやはり貴重な価値と言うべきものでしょう。

そんな私は5万円で入手したプリメーラに家族と角山さんを乗せて帰宅の途に着いたのでした。「アルファ乗りてえ！」とかいいながら。

（木村 弘南 No. 692）



[Roadster 女神湖 Meeting2003 レポート]

昨年は梅雨明け直前(苦笑)に開催された女神湖ミーティングですが今年はGW明けに開催されました。今回は主催者である原さんにレポートをお願いしました。

梅 雨もそろそろ明けそうなこの季節(明けちゃったかな? (^_^;;);、いかがお過ごしですか?

申し遅れました、会員番号674番 静岡市在住の原です。MLに入っている方は"はらっち"のハンドルネームでご存知かもしれませんね(^_^ゞ

さて今回は会報の場をお借りして、5月17日、18日の土日に開催した「Roadster 女神湖 Meeting2003」のレポートをお送りします。

女 神湖で行われているロードスターのミーティングは今年で8年目になります(多分(^_^;;;)。後発で同じ会場を使ってクラブ M2がミーティングを行っています。歴史的にはこのミーティングが元祖(?)となります(どちらも受入れペンションは同じなんですけどね)。当初は受入れ側ペンションのオーナーさん達が企画したものでしたが、現在は立科町との折衝、宿泊などをペンションオーナーさんが行い、イベント内容の企画、運営をイベント発起人が行う合同企画的な形式になっています。また当初は春と秋の年2回の開催でしたが、現在は年1回になっています。他の方が企画していた時期もありますが、ここ3年は私とその仲間が中心となり企画を行ってきました。ちなみに私は一参加者としてRoadster 女神湖 Meeting(以下RMMと略します)に参加し始めてから7年目になります(多分(^_^;;;)。

さてさて前置きが長くなりましたが、まずはご存知でない方のために女神湖の位置を説明します。女神湖は長野県ほぼ中央、立科町にあります。中央自動車道の諏訪ICからR152を北上すると白樺湖がありますが、それをさらに10分ほど走ると女神湖に到着です。みなさんビーナスラインはご存知だと思います。某白装束集団が通過したことでも有名になりました(^_^;;;が、美ヶ原高原、霧が峰、車山を中心としたエリアとマリーローランサン美術館などのある蓼科高原から茅野市に至るエリアを結ぶ素晴らしい高原のドライブルートです。女神湖はそのほぼ中心に位置することになります。

RMMはクラブやモデル、地域の枠を超えて、オーナー同士のより密なコミュニケーションを目指して企画されました。お祭りのようなものは他のミーティングにお任せして、一緒にペンションに宿泊し寝食を共にすることなどにより、参加者全員がより近しくなればなあと思っています。

今 回の開催日は前述したように5月17日18日でした。ここ2年は梅雨明けの時期を狙って7月中旬に開催していましたが、今年は従来通り5月に開催することとなりました。後述しますが実はこれが大正解でした。

さて第一日目。初日のメインイベントはツーリングです。例年ロケーションを生かし素晴らしいワインディングを満喫できるようなルートを選択していますが、今回はその中でもベストルートと言えるものをチョイスしました。

集合/スタート地点は「道の駅 南きよさと」です。清里ミーティングの時に前を通られる方もいるのではないのでしょうか。そしてもちろんゴールは女神湖になります。

ざっとルートを書きますと以下ようになります。

「道の駅 南きよさと」～(R141)～(八ヶ岳高原ライン)～富士見高原～(鉢巻道路)～原村ペンションビレッジ～八ヶ岳中央農業実践大学校～(七里ヶ岩ライン)～R152、ビーナスライン交差点～(ビーナスライン)～ランチ(サンモリッツファーム)

[ランチ後] サンモリッツファーム～(ビーナスライン)～(R152)

～大門峠～(ビーナスライン)～霧が峰駐車場・休憩～(ビーナスライン)～美ヶ原高原美術館駐車場・休憩～(ビーナスライン)～霧が峰～大門峠～女神湖湖畔駐車場

清里ミーティングの会場である清泉寮の少し北側を東西に走っているのが八ヶ岳高原ラインです。今回はそれにビーナスラインのメインとなるルートを全て盛り込みました。o(^o^o さらにウィークディは連日雨続きだった天気も、この週末は土日とも直前の予報を覆して奇跡的に晴れたのです。これはもう走れ！ってもんでしょう(笑)

5 月の信州ですから、お日様ドッピーカンでも丁度いい気温でオープンドライブにはもってこい！みんなこの日のために洗車してきた甲斐があるってもんです。ピカピカのロードスターを連ねて気持ちよくツーリングです。途中で休憩した八ヶ岳中央農業実践大学校では駐車場が牧草で覆われていて、そこにみんなのクルマを停めてプチミーティング状態(笑)。ランチはそこからしばらく走ったビーナスライン沿いのオーガニックレストランでランチバイキングです。カラダにいいものを使っている、美味しいからって食べ過ぎてはダメですねえ(反省、笑)

さてランチ後は通称大門街道と呼ばれるR152を走り抜け、ビーナスラインの高原ルート、車山、霧が峰、美ヶ原エリアに突入です。昨年このエリアを走ったのですが、7月でニコウキスゲのシーズンに入っていたため、霧が峰周辺はお花畑目当ての観光客で大渋滞！抜けるのに一苦労しました。でも今回はまだ観光地的にはハイシーズンでないために一般の観光客のクルマも少なく、ワインディングはほぼ貸切状態。なんの苦労もなく、みんなで連なって気持ちよくツーリングできました。これの素晴らしいワインディングを無料で走れるなんて、数年前から考えると夢のようです。(ビーナスラインは2002年から全線無料化されています)



5月中旬ともなると結構日差しも強く、既にみんなアイカンジに日焼けしてます。でも終点の美ヶ原高原にはまだ雪の塊が残っていて冬の厳しさを感じさせてくれます。そんな雪にケリを入れて崩していた人もいたそうですが。。(爆)

美 ヶ原高原からはそこまで来た道を辿るかたちで一路白樺湖経由でゴールの女神湖を目指し、今回の宿泊場所「ペンション ダニエルハウス」にチェックインです。スイスの山小屋を思わせる(行ったことないけど(^_^;;) 瀟洒なペンションの前にずらっとロードスターが並びます。うーん絵になるなあ。あ、今回はハワイから生まれ故郷の日本に帰ってきたMX-5 MIATA(NB)が1台参加してま



した。みんながペンションでワイワイ楽しんでいる頃、ロードスター同士でハワイのワインディングについて熱く語ってたんでしょか？(笑)

お風呂でツーリングでかいた汗を流したあとは美味しい洋食のフルコースディナーです。食事前のカンパイの地ビールが喉と五臓六腑に染み渡ります。クゥ〜(>_<)

夜はダイニングに集合しパーティです。事前の買出し分に加え、ペンションのオーナーさんからワインの寄付もあり(^o^*)お酒が入ったみんなの話題は尽きることがありません。ロードスターへの想い、思い出から未来の夢まで、そして次期ロードスターについて。。。時間はあっという間に過ぎ、ダイニングから部屋に場所を移してから話盛り上がり、女神湖の夜は更けることがありませんでした(ウソです、もちろん寝ましたよ(^_^;;))

さて明けて日曜日。第2日目の始まりです。朝食の時間には朝靄もすっかり晴れ、遠くの山々もくっきり見えるほど晴れ渡っています。今回の参加者の中に誰か晴れ男か晴れ女がいるのでしょうか？

焼きたてのパンと淹れたてのコーヒーのいい香りに包まれて幸せ気分朝食を頂いたあとは、早速チェックアウトとミーティングの準備です。でもみんな朝食前に愛車をピカピカにしたのは言うまでもありません(笑)。昨晩はあんなに遅くまで飲んでいたのでね〜。



RMM は基本的には宿泊を前提としたイベントですが、仕事の都合などで日曜日だけの参加の方もあり、集合地点として定めた駐車場には前日以上のロードスターが集まります。それだけでなんだか顔がほころんでしまいます。

挨拶や説明の後、集合地点からみんなで連なってゆっくりと女神湖を一周しながらミーティング会場に向かいます。途中で見える女神湖越しの立

科山と木々の緑と青い空には思わず目を奪われてしまいます。もちろん途中で止まって記念撮影したのは言うまでもありません(^_^)v

この日の会場は立科町が所有している立科園地です。ここは野外音楽堂が併設されている円形の芝生の公園です。回りは白樺やもみなどの木々に囲まれ、後ろには立科山がそびえています。そして今回は芝生の回りを黄色いタンポポが縁取ってくれました。自然からの思わぬプレゼントでした。

日曜のミーティングは、ロードスターを芝生の上に並べ、ロードスターを見ながらロードスター談義に花

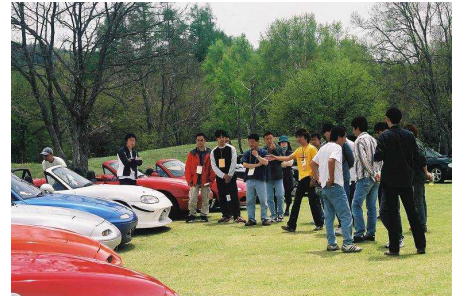
を咲かせる、実はこれがほぼ全てです。とってもシンプル。でもロードスターが芝の上にある、それだけでみんなニコニコです。話も弾みます。

園地に入場する際には一台一台個別に記念撮影します。芝生の上に自分とロードスターだけ。素晴らしいロケーションにやっぱりみんな顔がほころびます。

円形にロードスターを並べ、一台一台オーナーさんに自分のロードスターについて自慢してもらいます。ここでもやっぱりみんなニコニコ。でも時々自分のクルマにも使えるワザはないかと急にまじめ顔になったり。。。 (笑)

ランチは女神湖通りと呼ばれる商店街にあるレストランで思い思いのものを食べます。ランチタイムはたっぷり設けてあるので、辺りを散策したり、園地に戻って来て淹れたてのコーヒーを飲みながらゆったりとした時間を過ごしたり。

ハイシーズンでないことや道路から離れていることもあり、都会では味わえない静けさの中、贅沢な時間が味わえます。心洗われるってこういうことなんだなあと感じたりしました。写真好きな人はいろんなアングルからロードスターを写真に残してました。



まったりタイムが終わり、最後にプレゼント争奪ジャンケン大会です。想像を絶する壮絶な戦いが繰り広げられました(ウソ)。高級オイルがあったので、みんな目が血走ってました(ウソです(^_^;;)) みんな何かしらもらえるので得した気分ニコニコです。

ジャンケン大会で RMM の全てのイベントが終わると寂しいですが閉会式です。

日曜日のイベント内容はどうでしたか？、なーんだこんなものかと思いました？？

この雰囲気やロケーションの素晴らしさは、来てもらえばすぐに分かってもらえると思います。土曜日のツーリングも楽しいのでぜひ一度2日間通して参加してみてくださいね。

さて、実は今回は例年に比べて参加台数が大幅に少なかったんです。トータルで21台でした。前回、前々回は50台を超える参加台数だったのですが、今回は急遽開催時期を2ヶ月早めたこともあり、募集期間が短いことや、既に予定を入れていた方が多かったことなどで少なくなっていました。でもその反面参加者同士の交流はより深いものになり、結果的には良かったのかなあとも思っています。

来年以降もこんな感じで肩の力が抜けた、オーナーとロードスター、それと信州・女神湖の自然が主役のミーティングを続けて行きたいと思っています。

繰り返しになりますが、興味を持たれた方はぜひ一度参加してみてくださいね。お待ちしております(^_^)

ではご静聴ありがとうございました m(____)m

はいそこ、青年の主張じゃないんだからと突っ込みを入れない！(笑)

でわ (^_^)/

(原 千歳 No.674)

【T型フォード試乗記】

編集担当の私こと豆蔵が、前回の会報編集直後に本物のT型フォードを運転する機会を得ることができました。今とは操作方法の違う車を運転するまでのドタバタの様子をレポートします。

4月の終り頃、ネット上のニュースで「T型フォード運転講習会」があることを知った。見ればトヨタ博物館の企画で初回は5月10日とある。ちょっと面白そうだったので試しに応募してみた。ここのところクジ運が悪く、ジャンケンも弱い私だが、運良く当選の連絡がきた。。。てっきり応募者が少なかったと思っていた。

聞けば午前午後併せて6名の募集に対して八十数名の応募。約13倍。そのうち午前の部に選ばれたと考えても26倍？確かに運が良かったとは思うが、やや微妙な数字である。だいたい午前になったからと言って午後と変わるわけでもないし。(この考えがいささか過小評価だったことが当日判明するのだが。。。)

さて、連絡のあった翌日。早速、事前の資料が届いた。この資料を使ってイメージトレーニングをすることが義務付けられているのだ。世界で初めて本格的に量産され現代の自動車の基礎となったと言われるT型フォード。資料を見ると、ステアリングは今と同じで丸い。ペダルも3つ並んである。ステアリングの両側からレバーが伸びている点も同じと言える。が！その内容が違っている！いや、ステアリングは同じだ。別に押したり引いたりしなくても



回せば回した方向に曲がれるようになっている。最初の問題はペダルの配置だ。まずいきなり右端にあるのはブレーキだ。

対して左端にあるのはローギアとハイギアの切替えペダルだ。そして真ん中に伸びるのは・・・なんとリバースペダルである。つまり足元にあるのはブレーキペダルとギアの切替え用ペダルだけである。となればアクセルはどこにあるのか？

実はステアリングから右に伸びるレバー。それがスロットルレバーなのである。ちなみに左側に伸びるのが点火時期調整レバーである。さらに運転席の左側には床からレバーが伸びており、これがパーキングブレーキであると同時に前述のギアペダルと連動するレバーとなっている。

さすがに一度目を通しただけで早くもパニック状態。事前のイメージトレーニングの必要性を痛感。(^^;)そんなわけで、講習会当日まで連日連夜資料に沿って血のにじむような特訓に明け暮れたのあった。(大ウソ)

そして当日。天候はさわやかな晴天。ちなみに雨天の場合には中止な上に振り替え無しで再応募が必要だったのでも有給休暇で参加の私もまずは一安心。(爆)名古屋ICを降り、愛知万博用リアモーターカーの軌道建設中

の道路を東へ向かうとそこにトヨタ博物館がある。一足先に来ていたのは小学生の娘さんを連れのお父さん。(と言っても考えてみれば私と同年代・・・^^;)さらにもう一人も同年代の男性。こうして3人での講習が始まった。

まずは博物館の一室で挨拶と内容確認に続いてT型フォードについての簡単な説明。T型フォードは1908年(明治41年!)から19年間で約1500万台作られたもので、今日運転するのはその最終年度である1927年(それでも昭和2年!)に作られたクーペである。意外なことにこのクーペはセル付き！てっきりクランクで始動するものだと思って期待していたのだが。(ちなみにこの日、運転はしなかったがペダル配置の教習で座らせてもらった1915年製のセナードアセダンはクランク式だったが我々の居た午前中は始動に失敗していた模様・・・^^;)説明に続いてビデオでの説明。事前のイメージトレーニングの再確認ではあるが、それぞれのペダルの動きなどを見るのはこれ



れが初めてとなる。それでも結構イメージ通りですんなり理解できて一安心。

で、ビデオが終るといきなり博物館裏のテストコース

へと移動！事前に聞かされていたのだが、そこには沢山の取材陣が！今回の企画はトヨタ博物館としても初めての試みの上、これがまさに初回と言うことで取材依頼が多数入ったそうで。(滝汗)そんな取材陣を、じゃなくて実車を前に操作の実地確認。いや、椅子に座って指示された操作に伴う動作を行うだけなのだが。。。いやあ、気にするなといわれてもカメラがいると、なんて思う余裕は実はあまりなく、ここで間違った動作をしちゃったらまずいよなあ、と私を含む参加者は真剣そのもの。シャドウボクシングならぬシャドウドライビングを行い、まずは一通り完了。幸い、私も脱落することなく次の段階へと移る。

停止した実車での操作確認は二台に分れて行い、私はセナードアセダンですることに。このセナードアセダンののはまさにキャビンの中央にドアのあるタイプ。まんま馬車にエンジンがついたって感じですな。で、センターってぐらいなので後席から乗り込んで全席中央から前に出て運転席につくと言う構造になっている。今で言うワークスルーである。(違うっ！)

ちなみにセダンとクーペを比べると、さすがにセダンの方は年式の古さもあって内装には木が多く使われているし、まだまだ馬車時代の雰囲気が残っている。いや、馬車に乗ったことは無いのだが。(^^;)逆に操作系の使い勝手は基本的に同じとは言え、若干クーペの方が向上しているようだった。つか、セダンのスロットルレバー、短すぎて扱いづらいったら・・・いや、それでもこれらの操作系の工夫によりそれ以前の車と比べたら格段に運転が楽になったと言うことなので、もっと古い車の運転なんておいそれとはできないよなあ。。。

ところでクーペに座って気付いたのは運転席の右側に伸びる説明を受けなかったレバーの存在。聞けば3段式の

副変速機だそうで、実はこのクーペ6速仕様という事に。なんとNB並み?! (おいおい) 恐るべし、T型フォード。。。(; ^ ^)

続いてついに実車を運転!...の前に、まずは指導員さん運転の車に同乗しスピード感覚などの確認。自分の番が周ってくるまでの間、博物館の人とならげでお話していたら館長さんとかの偉い人でした。(汗) 今回がトヨタ博物館としても初の試みの1回目と言うこともあって視察に来たらしい。そう! この企画の継続と今後の展開は我々の態度と運転技術にかかっているのだ! (ほんとか? !)



とかやってるうちについて同乗体験! 既に目の前で走る姿を見ていたとは言え、動き出した時には「!」って少し感動。80年前の車と言うことで乗り心地はもっとピョコタンしてるかと思ったらそれほどでもない。もちろんきれいなテストコースと言うこともあると思うのだが。さすがにエンジン音はうるさいけど、ろどすた乗りに苦になるわけも無い。「どのぐらいのスピードが出るんですか?」と聞いたら、ここではコースが狭いので3~40キロ程度しか出せないが最高速は60キロ以上は出るとのこと。そんな話をしながら同時にイメージトレーニングもしつつ、あっという間に同乗時間は終わってしまった。ここで一旦休憩を挟み、...

いざ運転! まずは最初にお父さんが挑戦。関係者とカメラが見守る中、大方の期待を裏切り(; ^ ;) エンストすることなく無難に発進。最初こそスピードも抑え気味で多少ギクシャクした動きも見せていたが、周回を重ねる毎にどんどんスムーズになっていくのが傍目にも見てとれた。ああ、うまいなあ。自分だけ失敗したらどうしようか。。。とか思っているうちに自分の番が来た。



運転席に座る。ちなみに言うまでも無いがシートベルトはない。準備ができたなら右足でブレーキを踏みながら左足のギアペダルを中間のニュートラル位置に保ち、左にあるハンドレバーを倒してパーキング位置からドライブ位置へ。左のペダルに軽く切替えの感触が伝わる。そしてスロットルレバーを少し開けたら、ブレーキから足を離してギアペダルを踏みこんでローギアに繋ぐと、...。おお!! 動いた!

まずは慣れる為にローギアのまま、スロットルとブレーキ操作に集中してコースを1周する。2周目の直線で少し速度を上げたらギアチェンジ。スロットルを少し戻すと同

時にギアペダルを戻してハイギアに入れる。あとは意外と簡単。コーナーリング時もある程度の速度を保つことでハイギアを維持できるのでギアチェンジは事実上不要。スロットルとブレーキに集中していればいい。この点は粘りのある3000cc(でかい!)エンジンの功績も大きい。ちなみにマニュアルミッションとは言っても、クラッチでドンと繋ぐのかと思ったら間に遊星ギアとベルトでワンクッションおいているので繋ぐ際に神経質になる必要はない。いや、かえって少しゆっくり繋いだらジャダーが出て「バン」と繋いじゃってください」と言われてしまった。10分足らずの走行は長かったような短かったような...

そして2順目の走行へ。1順目はコースの外周路に沿っての走行だったが2順目はコース内なら8の字でも蛇行でもいと言われる。が! よりによって私の時には某放送協会が「並走して撮影したい」とかでカメラを載せた車が前を走ったり横に着いたり。。好きに走っていいですよ、とは言われたものの、これじゃ意識するなって方が無理だって! さすがに緊張したなあ。取材車がコース外に出ると



今度こそ自由に走行。少し蛇行気味に走ったりもしたけれど、さすがに重ステの切り返しは辛いものがあります。(爆)でも、最後の方は余裕出てきて結構楽しみながら運転している自分がいた。長距離は辛いけど、街で買い物ぐらいならできるんじゃないか、なんて思ったりもして。(笑)

最後はギアペダルをニュートラル位置にしたらブレーキを踏んで停止。ハンドレバーを中間位置まで戻してニュートラルに。これでギアペダルから足を離しても大丈夫になる。そしてブレーキを離しつつ左足で中央のリバースペダルを踏みこむ。これは左のギアペダルと同じでリバースペダル接続の為のものである。速度の調整はやはりスロットルレバーだ。最後はリバースを解除しつつ停止、ハンドレバーをパーキング位置にしてT型フォード運転体験は終わった。

こうして2回で実質20分以上の運転を体験した運転講習会。最後に館長さん直々に終了証を授与されると共に、記念写真を撮って無事にすべてのプログラムは終了した。このあと、博物館内の展示車を見ながらT型フォードのいろんな年式のあるたびに「今の自分ならこれも運転できるな」と、一人悦に入っていたのでした。(笑)

今回の運転講習会の募集は5月から7月までの限定だったけど、トヨタ博物館としては今後も継続的にこのような企画を行う予定らしいので興味のある方は要チェックですよ。

トヨタ博物館

<<http://www.toyota.co.jp/Museum/index-j.html>>

追記

この日の夕方、各局の名古屋ローカルニュースでは取材映像が流れ、私が仕事を休んでそんなところに行っていた事も週明けにはばれていましたとさ。。。

(小関“豆蔵”秀樹 No.529)

【やられちゃいました…。(ひでまろのユーノス日記)】

それは5月24日の夜のことでした。名古屋でラーメンを食べたあと、ちょっと遠回りして家に帰る途中、田舎の国道を走っていたぼくの黄色いユーノスの前に対向車がいました…。

最初は路肩側に避けたんですが、避けてるこっちに向かってとんでもないスピードでつっこんできます。しょうがないのでこんどはセンターライン側に避けたんですが、そんなに広い道路じゃなかったのでつっこんできた対向車と彼が抜こうとしていたトレーラーとの間に挟まれて止まりました。ぼくのユーノスの左側をえぐりまくっていったレガシィ B4 はそのまま道からそれて民家に突っ込んで停止。運転手が飛んできて「すみません、すみません、すみません…」って言うてましたが、怒鳴る気にもなりません。だってユーノスは左右ともボコボコだし、タイヤはあっちこっち向いちゃって押しても引いてもびくともしない状態…。



次の日は、ユーノスが運ばれたレッカー屋さんまで、とりあえず荷物を取りに行きました。買ったばかりのトイレットペーパーもトランクから救出(笑)。そのとき覗いたらトランクの床もしわが寄ってました…。

警察では「ホントに怪我はそれだけ？」って聞かれました。軽いむち打ちとあちこちの打撲にはなりましたが、骨折とかはありません。ぼくが救急車で運ばれちゃったあとに到着した警察の人はクルマとかの状況だけ見て、相当ヒドイことになってると思ってたようです。本当に不幸中の幸いだったとしか言いようがありません。ぼくがいつになくのんびり走っててすぐに減速したことと、正面衝突が避けられたことが良かったみたいです。全てを見ていた後続トラックの運転手さんは「アンタはほとんど止まるようなスピードだった」って言うてたし、警察によるとぶつかる直前のスピードは10km/h 以下だったとのこと。トレーラーとの間に挟まれたのも、

はじき飛ばされなくて偶然ラッキーな方に働いたとのこと。

というわけでひょっとしたら、つつ一か客観的に考えれば確実に、全損で廃車です。でも買い換えるってゆーのがピンとこないんですよね。買い換えるとしても黄色いユーノス以外に考えられないし、中古なんてほとんど出回ってないし。修理するって言うても見積り額は180万円！リフレッシュロードスターも買えちゃいますね。アレなら黄色に塗ってもらえるみたいだし。まだ残ってるのかな。でも180万円なんて補償してもらえないだろうし。

センターラインオーバーで100%相手側の過失ということなんですが、最初に相手の保険屋が提示してきた額は30万円。8年落ち以上のクルマの場合は、原則として新車購入価格の1割ということで本来ならば20万円のところ、もろもろの条件を考慮した額ということでした。でもインターネットで調べた平成3年式のJリミテッドは最低でも40~50万円くらいはします。それよりタマ数が少なくてほとんどありませんけど。見積もりを取って諸費用込みの72万円(車両本体価格は49万円)っていうFAXを送ったらこんどは40万円にしますって電話がありました。車両本体価格にも届きません…。

それはそうと、道を走るのがちょっと怖くなっちゃいました。運転してるとドキドキしちゃって、ちょっと手が震えます。そのうちなれるんでしょうか…？

なんて、暗い話になっちゃって申し訳ありません。せっかくこないだの会報では「またしばらくはユーノスの岡崎生活が続きます」なんて書いたばかりだったのに…。とりあえず通院しながらどうしようか考えているところです。なんとか秋の清里ミーティングまでには復活したいと思ってるんですけどね。

(ひでまろ No.590)



『清里ミーティング日程とイラスト公募のお知らせ』

恒例のERFC清里ミーティングですが、今年の開催日が**11月9日(日曜)**に決定しました。それにあわせて今年もTシャツ用のイラストを募集します。

応募方法

サイズはA4(270x210)以内。

作品は直筆、印刷の別は問いませんが、基本的に黒1色をお願いします。

事務局への郵送を基本としますが、データによる応募を希望の際はご相談下さい。

応募締切は8月31日(必着)とさせていただきます。

注：サイズによっては印刷の都合上拡大縮小することがあります。

着色、薄墨、鉛筆等は不可とします。

また、印刷対象が布である関係上、余り細かい図柄は再現が難しい場合があります。

なお、Tシャツ以外のグッズに使用させていただく場合があります。

今年も採用の方には賞品を用意させていただきます。皆さんの力作、傑作、快作、怪作(?)をお待ちしております。

【事務担当改め番頭つのやまの初心者の会・・・を脱皮したい？】

～おなじみつのやまさんの新連載？いや、連載にはならないかもしれないけど・・・ともかく～

「マシン」と言われるものは、できることなら上手に扱いたいと、皆さん思いますよね？もちろん私もそう念じています。増して大好きな「自動車」であれば尚更です。しかも、ワタシたちが乗る車は「ロードスター」。世間ではスポーツカーで通る車です。普段の利用実態がマルエツへの往復ばかりというのはこの際関係ありません。ただ、念じてるだけで上手くなればよいのですが、そんなわけないのが悲しい事実でありまして・・・

「んなもの、努力が足りないのだ！」と一蹴できる御仁には横にそれていただきまして、「上手くなりたいけどどうしたらいいの？」というワタシのような軟弱な人、結構いるんじゃないかな、と思うのです。どうです、あなたは？

ここで天から響く「悩んでるヒマがあったら練習せよ！」というご宣託は、もちろん大正解です。でも、もうそんなに若くないワタシやアナタにとっては、そのヒマというのが結構難物だったりしますよね？一見ヒマと思える時間は自分にとってはヒマな時間であっても家族にとっては貴重な時間だったりして、それを我が手に取り戻すまでにはずいぶんな努力が必要だったりします。万が一幸運にもその貴重なヒマが得られたとしても、家族の冷たい視線を掻い潜って峠に走りに行くにはそれなりに勇気が必要でしょうし、それをも克服しても、実はそんな体力がもう無かったりして。。。それでも運転うまくなりたあい！

最終的には運転しなきゃ上手くなるわけ無いのは経験値でなんとなくわかっているのですけれど、それに要する時間を如何に短くして効率的に上手くなるか、ポイントはそこにあるはずで、たぶん。

距離を稼ごうと夜な夜な峠を走りまわる時間も体力も無い、お休みの度にサーキットに行くわけにも行かない、無い無い尽くしでドーしよもないとあきらめかけた時ふと思いついたのが、「ドライビングスクール」のことでした。そういえば、教習所なるものを卒業して以来、運転とは何ぞやなんてことを、他人様からしっかり教わる機会は皆無に等しいでした。だいたい誰に教われればいいかなんてわかんないし！

あれ？もしかして、救世主になるかも？ひらめいたらさっそく調べましょう。インターネットって便利だ！

そしたら、そこそこあります、ね。その中で複数の人が体験談を紹介してたり、雑誌などで名前を見かけたことがある人が講師だったりするものを、ピックアップしてみました。

なんせ思いつきで調べてますので、順不同なのはもちろん、内容もまったく信憑性はありませんので、ピンときたら、ご自身で調査願います。

まずは「ユイレッシングスクール」 <http://www.avoc.com/>

ここは、筑波サーキットの公認ドライビングスクールを運営しています。それだけではなくスクールオリジナルの「オーバル」を利用したクルマの挙動を学ぶ教室もあるようです。場所は筑波か千葉のようですね。

次に、「デーライツ」 <http://www.D-Rights.co.jp>

雑誌やレースで有名な大井貴之さんが講師のスクールです。会場はサーキット（特にもてき）が多いようですね。もてきが会場の時は、レンタル車両で受講することもできますようです。

もう一つ見つけたのが、「ディー・テクニク」 <http://www5.plala.or.jp/dtec/>

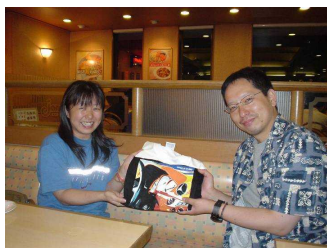
これまたR&S誌などでもおなじみの出来利弘さんが講師のようですが、なんと座学だけの講座をお店でやっているようです。

他にも「ポテンザドライビングレッスン」とかBMWのすっげえ高いけどすっげえいいらしいスクールとかもありますね。そう言えば、ゴーン前の日産は村山工場にそんな施設作ってましたよね？うーん、行っておけばよかったなあ。我が家の近く、桶川にはホンダのスクールもありました。筑波に限らず各サーキットでも公認スクールやってるようです。会社の後輩は「ユイレッシングスクール」に何度か参加して薦めてくれていましたし、その昔メーリングリストで大井さんのスクールを薦められたこともありましたっけ、、座学も興味津々ですが、都筑まで通うのはちと難しいか。

さあ、こうなったら行くしかないか！と思っただけは見たものの、お休みと受講料という関門が待ち構えて踏ん切りがつかない、、、とほほ。こうしてまた、念じるだけで上手くならないかと夢想するわけでした。（ええ何度も何度も、、、）

・・・皆さん、何か有効な情報がありましたら、是非お寄せ下さい。今回（勝手に）紹介したものに限らず、こんなのどうだ？あれがよかった、「甘ったれるなあ」など、何でも結構です。教えて下さい。できれば、つのやまの背中をドーンと押し出してください。（我が家の）予算と日程が合えば、念じるだけの毎日から脱皮してみるかも、しれませんので。。。では、オーディオス！

(つのやまけい No.153)



【ところで・・・】

清里以外では初体験かも？と思いつつご報告を・・・

先日、都内某所にある某いつものジョナサンにおきまして、LAモーターショーTシャププレゼントに「厳正なる抽選の結果」「見事難関を突破して」当選された、大橋しのぶさん（ご存知失笑師匠夫人）に、賞品であるTシャツ（ペア）を贈呈いたしました。喜んでいただけたようで、何よりです。きっとそのうち一枚を着るであろう失笑師匠はブッシュ交換記を早く送ってください。：P

なお、パンフレットはもうすぐ発送しますので応募された方、もう少しお待ち下さいませ。

【レディース通信】

この季節になるといつも思うことがあります。それは、「浴衣が欲しいなあ・・・」と。でも、数年経って思いはあれど買っていませんでした。なぜなら、『いつ着るか？』『どこに着ていくか？』『本当に着るのか？』と自問をすると、答えは『たぶん着ない』『着ても一回がいいところ・・・』となり、買ってももったいないというおばさん発想になってしまうからです。

もともと、着物には興味が有り、なぜか着付けだけは習っていたのです。（普通は、お茶やお花を習っていて、着る機会が多いから着付けを習う人が多いようです。）それも、やりだしたら最後までという性格のせいかな、その着付け教室で持っているコース全部終了しています。ということで、一応自分が着ることも人に着せることもできることになっていますし、その教室の先生になることもできる資格まで取っているのです。とはいえ、着付けで食べていこうなんて思ってもみなかったもので、その後ほとんど着物を着ることもなく過ごしていますので、たまに自分で着物を着るといふ話になると大騒ぎです。母親を巻き込んで、まず準備段階であればどこだこれほどこにいったとなり、着るときもあそこを押さえてこっちを押さえてなんて「一人で着れるんじゃないの??？」って疑問符がいっぱい付いちゃいます。

そんなことがあるので、浴衣くらい着れるはずで、浴衣に対してのハードルは低いはずなのに・・・買わないのです。

買っても着ないだろうという理由の他に、身長が高めなので、『サイズが合うのはあるかしら?』なんて心配もありました。着物はフリーサイズだからそんな心配はないはずと皆様思いがちですが、実は違うのです。反物の幅で身幅や袖丈が決まるだけに、背が高いとその分腕も長くなって通常の反物の幅では足りなくなってしまうこともあります。また、着丈(長さです)に関しても、昔の反物は平均身長が低い頃の規格ですので、私の身長に合わせて作るだけの長さがありません。(うーん、以前、帽子を探すのが大変という話を聞いたことがあります、私って、要は規格外に全身大きいだけってことかしら・・・?)

ただ、平均身長が昔よりのびていることもあり、私が成人の振袖を作ってもらった頃には、幅広の反物が出回るようにはなっていません。なので、あつらえて作る着物なら、裾(着物でいう袖丈のことです)も丈も自分のサイズに作ることができます。しかし、浴衣は一般的には出来合いです。サイズが心配なら反物を買ってあつらえればいいのですが、そうでなくても『着るのか?』とか悩んでいるのに、あつらえるとなると余計高く手がでません。

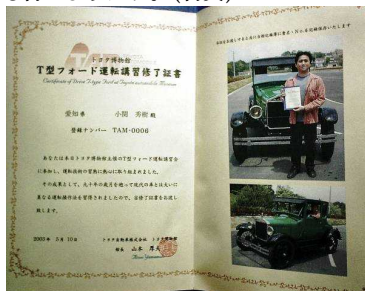
ところが、今年は某有名低価格衣料品メーカーが浴衣を格安で販売したので、サイズが大丈夫なら買ってみようと思っていました。しかし、試着どころか体に当ててみることもできませんでした。値段が安いこともあり、よーしと思い切って買ってみました。というのも、他のデパートで売っているようなものとサイズ的には変わりがなく、大丈夫かもしれない・・・と勝手な判断を下したのです。ところが、心配していたとおり裾がまったく足りませんでした。長さは、背の高い人でも着れるようにと思っているのか十分なのですが・・・やっぱり、着物を取り扱っているメーカーでないだけに、長さだけ長くすれば背の高い人でも着れる思ったのでしょうか・・・?(170cmまでというようなことが書いてあったのに・・・私はそんなに高くないし!ぶんぶん!)

母親に見せたら、「裾がつんつててんじゃない!」といわれ、着るのがみっともないと思っているのが言外に感じられました。一瞬着ることをひるんだものの、それでも、浴衣を買ったことに満足して、まっ、夏だし多少(?かなり?)袖が短くても許されるかなと勝手な判断をして練習をかねて着てみようと思っています。ということで、着る機会を増やすためにも、ぜひ、今年も花火大会にさそって下さい!ね、Fさん!

(高橋(ち))

【編集後記】

そんなわけで前回の編集後記で予告した通り、ちょっと変わった車の運転を習いに行ってきました。本文にも書いた通り、運転前は結構心配していましたが、習うより生むが易し!(あれ?)ちゃんと予習をしておけば、ちゃんと手足は動いてくれるものですね。短い時間ではありましたが、結構運転を楽しめました。まあ、実際の路上と違って急な操作やとっさの判断はほとんど必要とされないからだとも言えますがね。(苦笑)



運転が終わると左の写真のような見開きの修了証書ももらえます。修了証書の右半分にはなぜかその修了証書を持った自分の写真が印刷されています。(いや、終了後に撮影して後日郵送されてくるだけのことなんです、...)

このときは同じ年代の3人が講習を受けたのですが、

応募者全体では年齢の幅は比較的広がったらしく、若い人はもちろん、上のほうはなんと「このT型フォードで運転を覚えた」と言う方もいらしたとか。てことは年齢は...?!凄すぎます。。

館員さんたちとお話したところ、この企画が好評なら今後は他の車でも同じように体験運転の機会を作りたいとおっしゃっていました。「例えば360cc時代の軽自動車とかどうでしょう?」なんて聞かれたので、「いいですねえ」と答えながらついでに「2000GTとかのスポーツカーなんてのは?」と逆に聞いてみたら「なにしろこのコース長ではねえ...」とのこと。納得しながらも残念。

帰ってからNHKのローカルニュースを見たら並走映像もインタビューもしっかり使われていて嬉しいやら、恥ずかしいやら。でも、その後に続く全国ニュースの各地の話題では取り上げられなくて少しがっかりしたのはここだけの話。(笑)

さて、いいこともあれば悪いこともある。つい先日、脱臼しました。何でも無い数段の階段で足を滑らせ、手すりでも体を支えたまでではないけれど、肩が体重に堪えられず...(涙)おかげで病院ではじめて初めて全身麻酔を受けました。以前、スキーで亜脱臼をした時は自分で入れちゃったんですが、今回はしっかり外れてて無理でした。(笑)

一応、翌日に検査で病院に行った時こそ腕を吊ってはいましたが、その直前に車や自転車を運転していたことはお医者さんには内緒。(爆)もう仕事も生活も普通にこなしています。でも今回の一件で少し真剣にダイエットを考える今日この頃.....

さて、次号は清里準備号となります。この号が完成したらそのままぐに実行委員長モードに移らねば...。そろそろ雑誌でも次期RSの予想図が出てきてますが気になりますね。秋のモーターショーにはどんなものが姿を現すのでしょうか?そうそう、去年と同様、今年もTシャツイラストの公募を行っています。みなさんの力作をお待ちしています。

では次号(9月20日発行予定)でお会いしましょう。

(まめぞう)



↑ No.655 芹田邦治さんのおはがき

愛知在住の編集担当には遠く憧れだけの地ですな。でも同じ愛知在住の会長には決して遠くないかも?(^^;

E.R.F.C. Newsletter
2003 Vol.2

2003年7月20日発行

発行: EUNOS ROADSTER FAN CLUB

E-MAIL: erfcc@dec.sakura.ne.jp

URL: http://dec.sakura.ne.jp/~erfcc/